



減災のための目標(案)について

■千代川水系における水害の特徴

- ①千代川は全国的に見ても有数な急流河川であり、また同規模の支川が放射状に合流する流域形状であることから、水位の上昇が急激で洪水時の初動対応時間が短い
- ②急流河川であり流れのエネルギーが大きいため、川岸や護岸が洗掘されやすく、また、ひとたび洗掘が発生すると急速に拡大する恐れがある
- ③千代川下流域には浸水域が広がるが、特に左岸下流域については避難場所が遠く離れており、また垂直避難が可能な施設も限られていることから、避難に時間を要する恐れがある
→早めの避難勧告等の発令が必要
- ④浸水時には交通網がマヒし、水防活動に支障が生じる恐れがある
→氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動が必要
- ⑤浸水域内には多くの人口・資産や行政・医療機関等の重要施設が多数あるほか、国道や鉄道等の結節点でもあることから、浸水してしまうと経済活動への影響も甚大である
→浸水を早期に解消するための効率的な排水対策が必要
- ⑥直轄河川改修事業の着手以降、直轄管理区間においては破堤による激甚な被害を経験していないが、反面で住民が洪水の危険性を認識する機会が減少しており、それが住民の適切な洪水対応行動を阻害する要因となることが懸念される



氾濫特性を踏まえた、適切な目標と取組方針の設定が重要

■減災のための目標(案)

■5年間で達成すべき目標

急流河川で水位上昇が急激なため迅速な洪水対応が求められる千代川において、発生しうる大規模水害に対し、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指す。

※大規模水害・・・想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫による被害

※逃げ遅れ・・・立ち退き避難が必要なエリアからの避難が遅れ孤立した状態

※社会経済被害の最小化・・・大規模水害による社会経済被害を軽減し、早期に再開できる状態

■上記達成に向けた3本柱の取組

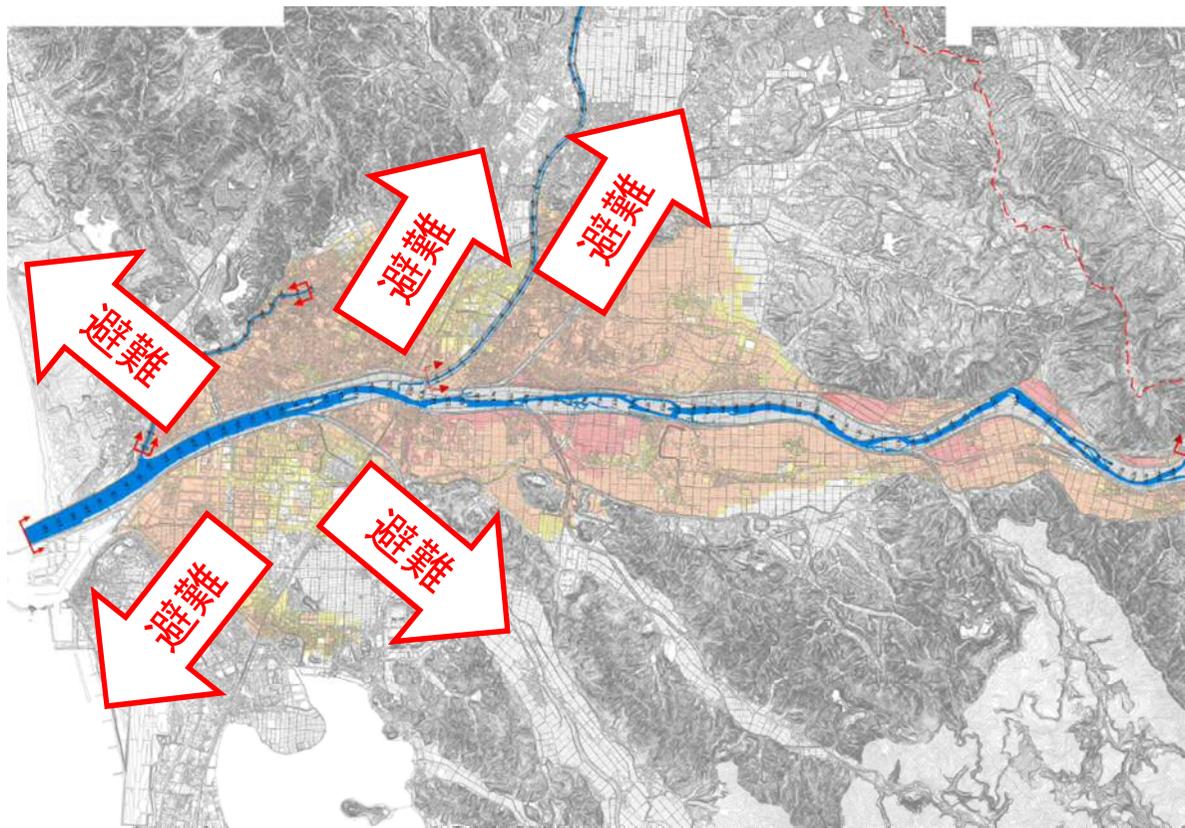
1. 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ適確な避難行動のための取組
2. 生命と財産を守る水防活動と日常生活を取り戻すための排水活動の強化
3. 地域住民の防災意識向上のための防災教育の拡充

■逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ適確な避難行動のための取組(例)

(1) 平時からのリスク情報の周知に関する事項

○広域避難計画やタイムラインの精度向上、避難所の再設定

○想定浸水深表示板の設置



垂直避難や水平避難など多様な避難のイメージ



想定浸水深表示板

■逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ適確な避難行動のための取組(例)

(2) 発災時の迅速かつ確実な避難に関する事項

○避難の目安となる目標物のリアルタイム映像情報の配信・共有

○危険箇所等を監視する簡易水位計等の整備



簡易水位計(千代川)

※本例では、危険箇所の高水敷上に簡易水位計を設置し、洪水が高水敷高を超えた場合に水位情報を送信する。

ライブカメラによるリアルタイム情報(千代川)

■生命と財産を守る水防活動と日常生活を取り戻すための排水活動の強化(例)

(1) 生命と財産を守る水防活動の強化

○河川管理者や水防団や地域住民が参加した重要水防箇所等の合同点検を行い水害リスクの情報共有を図る

○関係機関が連携した実践的な総合水防訓練の実施



住民が参加する堤防の合同点検(美保南地区)



住民が参加する訓練:避難訓練
(平成25年千代川水防訓練)



住民が参加する訓練:土のうづくり
(平成25年千代川水防訓練)

■生命と財産を守る水防活動と日常生活を取り戻すための排水活動の強化(例)

(2) 日常生活を取り戻すための排水活動の強化

- 大規模水害を想定した排水計画の作成
- 排水を効率的に進める施設の整備
- 関係機関と連携した排水訓練の実施



排水ポンプ車による排水訓練(千代川)



平成26年8月広島豪雨災害における排水ポンプ車の活動状況



平成26年8月広島豪雨災害における排水ポンプ車の釜場の状況

■地域住民の防災意識向上のための防災教育の拡充(例)

○小中学校などの教育機関と連携した防災教育の拡充

国土交通省近畿地方整備局 福井河川国道事務所の取組事例
「わが家の防災コンテスト(H26、27)」

概要

福井豪雨を振り返り、改めて水害に対する防災・減災への意識を喚起するため、県内の小学生とその家族を対象に防災コンテストを開催した。

コンテストでは、福井豪雨を経験していない小学生が、災害が発生した時に避難する場所や危険な場所がどこなのか、災害が起こった時にどう行動すればよいか等を、**家族と話し合っ**て作成する「**防災マップ**」を応募した。



H26年度応募数 95点
H27年度応募数 178点

コンテスト入賞作品 (H27)

審査会の結果、以下の入賞作35点を選考した。また、9月に福井新聞社にて表彰式を行った。

最優秀賞:社北小5年 須方 海咲
優秀賞 :東十郷小6年 牧野 早夕花
同上 :春江小5年 長岡 野乃子
同上 :春江小5年 坂下 心音
特別賞2名 入選9名 奨励賞20名



最優秀賞：須方 海咲



表彰式の様子



表彰式の様子